



「桂川っ子」の文字は、
 桂川中学校美術部員が
 デザインしたものです。

土曜日の授業

桂川町教育委員会

教育長 穂坂和義

学校が完全週5日制になってから10年が経過しました。土曜日の過ごし方も各家庭や地域によって大きな差があり、週5日制の趣旨や目的が生かされているとは言い切れない状況もあります。

福岡県教育委員会は、去る3月22日に「月2回を上限に、家庭・地域との連携による行事や授業を認める」旨の通知を出しています。

これは、学校と家庭・地域との連携協力の強化、さらに新学習指導要領で増加した学習内容に対応する上で、授業時数の確保（学力保障）に苦慮する学校現場の声を考慮してのものと思われまます。

8月2日現在の調査結果によると県内60市町村の内、すでに23の市町村が実施に踏み切っており、さらに18の市町村が実施の方向で検討中という結果が出ています。

本町では、本年度は2学期と3学期に試行的に1回ずつ実施して様子を見ることとしておりましたが、来年度以降どうするか決断しなければならない時期となりました。

そこで、教育委員会、保護者代表、校長、教員代表（計14人）による「土曜日授業検討委員会」を立ち上げ、慎重審議を重ねた結果、次のように基本的方向が決定しました。

- 学校週5日制の趣旨を踏まえつつ、開かれた学校づくりを推進する観点から、各学校の実情に応じ、月2回を超えない範囲で土曜授業を行う。
- 土曜日のスポーツ活動や社会教育等での活動を配慮し、来年度は年間6回程度実施する。

具体的な検討はこれからですが、十分協議して、無理のないかたちで進めていくつもりです。ご理解とご協力をお願いします。

なお、この土曜授業は正規の学校日なので、代休はありません。

心も体も健やかに

桂川小学校 校長 藤田季弘

本年度から福岡県が「家庭や地域と連携した行事や授業などについて、月2回半日程度で土曜日に授業を実施してもよい」という方針を打ち出しました。

これを受け、桂川町内の小中学校では、本年度は2回実施することになり、1回目を11月17日(土)に3校そろって実施しました。

本校は、前半に授業参観、後半に清掃活動をしました。

5・6年生の授業参観は、『ネットによる誹謗中傷・いじめ等の防止』をテーマに、専門の講師を招いて、保護者と一緒に学習しました。

これは、福岡県が児童生徒の規範意識を高めることや非行に走らない判断力や行動力を育成することを目標にした事業の一環でもあります。

当日は、天気が悪く、かかわらず、約70人の保護者の参加がありました。



パソコンのゲームや携帯電話でのトラブル等、子どもが巻き込まれる危険について、分かりやすい話でした。中でも「パソコンのゲームは、脳の発達にほとんど役に立たない。」という話が印象的でした。

改めて家庭での子どもパソコンや携帯電話の扱いには、大人の細心の注意が必要なことはつきりしました。

今回実施した清掃活動（桂小ではクリーンアップ作戦）は、悪天候のため、外での活動は中止し、各教室や廊下など校内を親子できれいにしてもらいました。

なお、2回目（土）の土曜日の授業は、2月2日(土)に実施します。

